

泊発電所

敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について
(令和3年7月30日審査会合における指摘事項)

令和3年8月18日
北海道電力株式会社

令和3年7月30日審査会合における指摘事項

No.	指摘事項
1	地震のマグニチュードー震央距離図において、震度の記載位置を適正化すること。
2	解放基盤表面の設定を明確にすること。
3	積丹半島北西沖の断層における走向による地震動評価結果の比較において、鉛直方向についても主要設備の固有周期を記載すること。
4	積丹半島北西沖の断層について、走向40° についても検討ケースとして選定し、不確かさを考慮した検討を行うこと。
5	検討用地震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、基本震源モデルを用いてアスペリティの影響を確認すること。 ・すべての検討用地震について、最浅部のアスペリティ1列の寄与度を確認すること ・積丹半島北西沖の断層について、敷地に近い深さ方向のアスペリティ1列の寄与度を確認すること ・アスペリティが複数ある断層について、各アスペリティの寄与度を確認すること
6	F _B -2断層による地震において、経験的グリーン関数法に用いる要素地震の適用性および検証に関する記載を適正化するとともに、経験的グリーン関数法を採用している理由を適正化すること。
7	検討用地震の地震動評価結果の比較を参考ではなく検討結果として記載すること。